

## 平成25年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	58		学校名	竜ヶ崎南高等学校			課程	全日制			学校長名	高瀬宏樹				
教頭名	井坂博子									事務長名	柴崎聖司					
教職員数	教諭	21	養護教諭・養護助教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	4	計	42
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		73	47	48	45	45	40			166	132	9			

## 2 目指す学校像

「すべての教育活動は生徒のために」を基本理念として、一人一人の生徒を大切にしながら、社会の要望に応えられる、誠実で自主的精神に充ちた、創造性豊かな「将来社会に貢献できる人材」を育成する学校。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	基礎学力未定着で、学習意欲に欠ける。家庭学習の習慣はほとんどなく、成績不振の生徒が多い。	基礎基本の定着を図るため、いかにして主体的に授業に取り組ませるか。
進路指導	自分の将来について真剣に考えることを避ける生徒が多く、就職を希望しつつも、実現のための努力をしない。	進路目標をいかにして設定させていくか。
生徒指導	基本的な生活習慣の定着していない生徒が多く、遅刻の多さが目に付く。服装・頭髪等の乱れもあり、特別指導件数も多い。	規範意識の高揚を図り、本来の高校生活を取り戻させるため、保護者とどのように連携をとって指導していくか。
特別活動	部活動の加入率が低く、低迷状態にある。生徒会本部の活動はあるが、委員会などの活動は不十分。学校行事への取組は徐々によくなりつつある。	生徒の自発的・自主的活動をどう支援していくか。部活動の活性化をどう図っていくか。

## 4 中期的目標

- 1 自発的学習の習慣化を図り、学力の向上に努める。
- 2 一人一人の能力適性に応じた進路指導を推進し、個性の伸長に努める。
- 3 規則正しい生活の実践をとおして、自立的生活習慣の確立をめざす。
- 4 体育活動や文化活動を奨励し、強健な心身と豊かな情操の育成に努める。
- 5 勤労や創造の喜びを体験させ、奉仕の心と望ましい勤労観の育成に努める。

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒一人一人が主体的に学習できる落ち着いた授業環境を目指し、指導方法の工夫・改善を進める。	①落ち着いた授業環境の成立を目指し、授業の進め方や指導方法・評価方法を研究する。 ②「学びの共同体」の指導方法を調査研究し、生徒のコミュニケーション能力と協働性の向上を目指す。
2 キャリア教育の充実と進路先の開拓を推進する。	③人生や社会を見つめる態度を養い、生徒一人一人の興味や適性に応じた進路選択を支援し、卒業予定者全員の進路決定を目指す。
3 「み・そ・あ・じ」の徹底を図り、基本的生活習慣を身に付けさせる。	④み（身だしなみ） 本校所定の制服をきちんと着用させ、社会の常識として認められる身だしなみをさせる。 そ（掃除） 身の回りの整理・整頓をはじめ、掃除の習慣と環境を大切にする精神を定着させる。 あ（挨拶） 時・所・場所に応じた挨拶が自然に出来るよう、習慣化を図る。 じ（時間） 規律ある学校生活を送るため、時間厳守の生活習慣を定着させる。
4 部活動への参加を奨励するとともに、特別活動の充実を図る。	⑤部活動加入率向上を目指し、強健な心身と情操の育成を目指す。 ⑥生徒による自主的活動の尊重と学校のより一層の活性化を図る。
5 生活体験や社会体験を通して、社会の変化に適切に対応できる力を育成する。	⑦学校での環境美化や企業等での体験活動を奨励し、勤労観・職業観の育成と充実を支援する。
6 保護者・地域社会との積極的な連携を図る。	⑧保護者との連絡・連携に努め、教育活動への理解を求める。